

令和5年度 第2回伊豆の国市地域公共交通会議 議事録

次のとおり令和5年度第2回伊豆の国市地域公共交通会議を開催した。

- | | | |
|----|--------|--|
| 第1 | 開催日時 | 令和5年11月10日(金)午後1時30分～3時00分 |
| 第2 | 開催会場 | 長岡庁舎3階第1・第2会議室 |
| 第3 | 出席した委員 | 磯崎 猛 (伊豆の国市副市長)
岩崎 勝一 (伊豆箱根バス株式会社三島営業所長)
青木 守 (株式会社東海バス修善寺営業所長)
古瀬 孝次 (伊豆箱根交通株式会社長岡営業所長)
川嶋 正二 (千代田区長)
西島 逸郎 (浮橋区長)
石渡 宏 (奈古谷区代表)
市川 仁 (星の花号コムタク委員会会長)
石川 博文 (シニアクラブ伊豆の国長岡支部長)
久保田 雅也 (伊豆の国市PTA連絡協議会長)
三枝 哲哉 (東海自動車労働組合執行委員長)
三枝 弘明 (伊豆箱根鉄道株式会社鉄道部運輸課長)
太田 藤彦 (伊豆中央警察署交通課係長)
小田 春樹 (国土交通省中部運輸局静岡運輸支局専門官)
浦田 芳孝 (静岡県交通基盤部都市局地域交通課主査)
池上 淳 (静岡県沼津土木事務所工事第2課係長)
藤井 敬宏 (日本大学理工学部特任教授)
佐藤 政志 (伊豆の国市教育部長)
浜村 正典 (伊豆の国市健康福祉部長)
西島 和仁 (伊豆の国市都市整備部長) 以上20人 |
| 第4 | 欠席した委員 | 寺山 冗二 (株式会社寺山自動車取締役)
堀内 哲郎 (一般社団法人静岡県バス協会専務理事) 以上2人 |
| 第5 | 事務局 | 守野 充義 (企画財政部長)
大澤 努 (企画財政部協働まちづくり課長)
佐藤 健太 (企画財政部協働まちづくり課まちづくり係長)
久保田 洋輔 (企画財政部協働まちづくり課副主幹) 以上4人 |
| 第6 | 会議次第等 | |
| 1 | 開会 | |

事務局の大澤から上記のとおり委員の出席があり、本会議が伊豆の国市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項に定めた「委員の過半数の出席」の成立要件を満たしているための報告があり、本会議の開会の宣言をした。

2 会長あいさつ

会長である磯崎副市長から挨拶をした。

3 議事録署名人の指名

事務局の大澤から議事に入るに当たり、伊豆の国市地域公共交通会議運営規程第3条第1項の規定より、会長が議長を務めることを報告した。

議長は、伊豆の国市地域公共交通会議運営規程第10条第1項の規定に基づき、伊豆箱根バスの岩崎委員を本会議の議事録署名人に指名した。

4 議事

(1) 協議事項 伊豆の国市地域公共交通計画について

議長は、「伊豆の国市地域公共交通計画について」を協議事項とする旨を宣言し、事務局に説明を求めた。

事務局の久保田から、配布した協議事項「伊豆の国市地域公共交通計画について」説明をした。

その後、議長は、この協議事項について委員各位から質問や意見を受けたい旨を述べ、以下のとおり質疑応答が行われた。

[質疑応答等の要旨]

浦田委員（静岡県地域交通課）からは、静岡県でも地域公共交通計画を策定中であり、当該計画の目標とも整合がとれている。目標5の来訪者も利用しやすい交通手段の充実は、観光客への配慮が図られ、レンタサイクルやシェアサイクルなど公共交通の枠組みを超えて考えられていて評価できる。また、目標3の市民主体による交通手段の構築について、静岡県としても交通事業者だけでなく市民主体、共助による交通手段について勉強会を開催しているとの意見があった。

議長は、静岡県の計画も参考にしながら素案を検討してきたこと、また、今後ともご指導をお願いしたいと報告した。

藤井委員（日本大学理工学部）からは、目標3の市民主体による交通手段の構築について、目標設定に市民主体とあるのは良い方向であるが、導入する地域の条件には検討の余地がある。ボランティア移送といっても取組は様々で、自身が関わった事例では、福島県では日当が出ていた一方で裾野市では手当がなく、当初はガソリン代もボランティア側で負担していた。計画におけるボランティア移送の位置付けについてももう少し明確にしてはどうか。また、福祉有償運送では、福祉に特化して管理体制を機能させることが前提であり、ドライバーの安全運転講習を位置付け、事故の有無の確認なども許認可申請時に必要となる。安全を担保するためには、市民主体による組織体制の構築時に注意した方がよい。ライドシェアには様々な課題があるが、同様に公共交通の枠組みの中で安全を守る考え方を位置付けていくことが重要である。いずれにせよ現在の交通事業者と棲み分けをしながら、地域交通を担保する方法を見極める必要があるとの意見があった。

また、観光資源を活かすことを考えると MaaS のように常に情報を発信する仕組みや旅館等に宿泊した外国人向けに公共交通やレンタサイクル等の情報を英語や中国語によって提供することができれば利用促進につながるのではないかと、取組みも含めてインバウンドの観光客をどのように位置付けるかを検討してほしいとの意見があった。

議長は、ボランティア移送の位置付けはより明確に記載していきたい。インバウンドを中心とした観光客への取組みも具体的に検討していきたいと回答した。

事務局の大澤は、ボランティア移送については、地域との交通手段の検討会を開催し、地域のニーズを聞き最適な運行を目指すことができるような組織づくりをしていきたいと考えており、ボランティア移送の定義や組織体制について明確にしていきたい。また、市内でも個人向けのインバウンド客が増えていることからレンタサイクル等の利用方法等の情報発信も検討していきたいと回答した。

小田委員（静岡運輸支局）からは、伊豆の国市と静岡県の地域公共交通計画は、同じ計画期間であるため、もう少し連携した書きぶりであってもよいのではないかと。ボランティア移送については、道路運送法に基づいた自家用有償運送等の手法、道路運送法の許可登録を要しない輸送もある。それぞれにメリット、デメリットがあり地域の状況により判断すべき事項ではあるが、希望があれば事例等を提供することができる。参考として 19P に株式会社アイシンが運営する「チョイソコ」が記載されているが、今年度、吉田町でも「チョイソコ」を導入した。その他のオンデマンド交通の事例についても情報提供できるので活用いただきたい。また、26P のスケジュールについては、来年度から一律に開始する必要はなく、事業ごとに具体的なスケジュールがあってもよいのではないかととの意見があった。

議長は、今後も助言や先進事例の提供についてご協力いただきたいと回答した。

青木委員（東海バス）からは、運転手の確保に向けた取組み推進の記載に感謝する。伊豆の国市自主運行バスの亀石峠線を受託しているが、運転手不足が続きいつまで運行を存続できるか不透明である。運転手は長時間労働の割に低賃金であるため、3年未満の離職率が高い。弊社でも大型二種免許の取得支援や住宅補助をしているが、それでも運転手不足が解消されていない。例えば市でも移住者の就職支援を手厚くするなど、運転手を確保するための施策を組み入れていただきたいとの意見があった。

議長は、交通事業者に関する現状に関する情報提供や就職説明会の支援等を想定していたが、移住者への就職先紹介なども検討していきたいと回答した。

石川委員（シニアクラブ）、静岡県でもライドシェアの実験が進められているようだが、定年延長や再雇用で時間にゆとりのあるシニア世代が少ない中でライドシェアの運転手のなり手はどれほどいるのか疑問がある。また、本会議の委員に女性がない。女性目線もあるとよいのではないかととの意見があった。

議長は、ライドシェアについては、湖西市や磐田市などで検討を始めていると聞いているため、先進事例を参考に当市でも検討していきたい。また、本会議への女性委員の参画についても今後検討していきたいと回答した。

岩崎委員（伊豆箱根バス）からは、伊豆の国市には危険バス停の移設と撤去に協力いただき感謝する。引き続き、バス停の安全性の向上に市と協力して取り組んでいきたい。順天堂大学前の歩道改良工事の中でバスベイが改良される。このように工事のタイミングでバス停の安全性や快適性の向上についても一緒に考えてもらえるとうれしいとの意見があった。

また、弊社も乗務員を募集しているが昨年度から乗務員が減少している。12月には大型二種免許取得支援制度を活用して2名が入社予定であるが、今年度の離職者は定年退職を含めて5名であり、離職が続いている厳しい状況である。乗務員不足に起因する突発的な運休が発生しないよう対応しているが、乗務員は10名弱ほど不足しており、貸切バスの乗務員に路線バスを運行してもらうなど何とか運行を維持している。採用活動については、大手求人サイトに出稿しているものの採用に至らないため、苦しい中ではあるが乗務員の待遇の向上を検討している。自動車学校と協力した運転体験会を行うなど積極的な採用活動を進めていきたい。2024年4月から乗務員の労働時間の基準が見直され、乗務員が1日に運行できる時間が短縮されるため、労働基準を遵守したダイヤ編成を再検討している。今の人数では現在と同様の運行ができないため、やむを得ず減便することになる。しかし、減便する中でも分かりやすいダイヤとするなど利用環境の改善を検討していきたいとの意見があった。

議長は、大変厳しい状況であることは理解した。バス停留所の安全性と快適性の向上については、当市だけでなく国や静岡県との連携した取り組みを継続していきたいと回答した。

市川委員（星の花号委員会）は、石川委員がシニアクラブでデジタルサポーター制度を推進している。バスロケーションシステムはいずれお年寄りも使うようになる。自身で伊豆箱根バスナビやMOKUIKを利用して見たが、操作方法が難しいと感じた。高齢者向けに使い方講習等があると普及するのではないか。目標3の地域主体の組織体制の構築について、星の花号の委員会に事業者である伊豆箱根交通にも参加してもらいたい。前回参加してもらった際に、予約時間の改善を求めたところ、翌日には対応していただいた経緯があり、利用者から感謝の声があった。また、自身が若い頃はバスやタクシーの運転手は憧れの職業であった。運転手が子どもから尊敬される職業となるとよいとの意見があった。

古瀬委員（伊豆箱根交通）は、星の花号の委員会には過去に1度出席し、予約時間の改善について対応した。今後は定期的に参加していきたいと回答した。

藤井委員（日本大学理工学部）は、自身に関わる千葉県内の公共交通会議の事例として、どの自治体も計画内に「高齢者支援」をキーワードとして挙げる傾向

にあるが、SDGsの17の目標の中で地域公共交通は、女性・子ども・高齢者を対象としている。最初に「女性」次に「子ども」と表記している。そのような中で女性や子どもへの支援を地域公共交通計画に取り入れる自治体が増えつつある。具体的には、子どもを産み育てる環境づくりといった観点から、妊婦検診や出産時のタクシー利用に補助を行う事例がある。公共交通の中で女性に対してどのような支援ができるか考えることが重要である。地方都市では女性の運転免許保有率が高く、公共交通の利用につながっていない。伊豆の国市でも同じ状況であると考えられる。子どもが育つ限られた時間の中で特に0～3歳児をキーワードとして、デマンドタクシーなど公共交通を活用するといったサポートを検討してはどうかとの意見があった。

また、運転手不足はどの市町でも深刻な課題であり、自治体と交通事業者が協力して対応している事例がある。例えば、市町の自主運行バスについて、大型二種免許を保有する市職員が運転手を担うことで、給与は各自治体から、車両や運行管理費はバスを保有する交通事業者が負担するといった連携体制の検討も始まろうとしている。女性の採用に向けて、女子高で就職説明会やキャリアアップセミナーを行い、その中で女性が働くことができる環境づくりを推進していることを紹介し、それを数年継続して地域に企業風土を根付かせるといった取組もある。安全を担保したうえで様々な運転手の採用に向けた取組を行い、交通事業を継続していくことが大切であるとの意見があった。

川嶋委員（千代田区）バスが通行する県道であっても十分な幅員が確保されていない道路が多い。バスを安全に運転するためには道路改良も必要であるとの意見があった。

議長は、今後、地域公共交通計画（案）に対する意見や修正箇所がある場合は、配布資料の「伊豆の国市地域公共交通計画（案）に対する意見」にて11月17日までに意見の提出を依頼した。

議長は、協議事項「伊豆の国市地域公共交通計画について」提示した第1章から及び第4章までの事務局案について、本会議の質疑応答や意見を反映し、第5章の作成作業を進めるものと結論づけた。

(2) 報告事項 市自主運行バス（亀石峠～大仁駅前・修善寺駅線）の運賃改定について

議長は、「市自主運行バス（亀石峠～大仁駅前・修善寺駅線）の運賃改定について」を報告事項とする旨を宣言し、事務局に説明を求めた。

事務局の久保田から、配布した報告事項「市自主運行バス（亀石峠～大仁駅前・修善寺駅線）の運賃改定について」説明をした。

その後、議長は、この協議事項について委員各位から質問や意見を受けたい旨を述べたが、質疑等はなかった。

議長は、以上をもって本日の議事の全てを終了した旨を述べ、その他事項につ

いて、各委員から報告等を求めた。

小田委員（静岡運輸支局）は、11月27日に静岡運輸支局とバス協会、県内バス事業者7社が協力し、きせがわ自動車学校で運転体験会を実施する。7事業者が就職説明ブースを設けるため、就職希望者に周知してほしいと依頼した。

議長は、引き続き各委員から報告等を求めたが、特になかったため、各委員に会議の円滑な進行に対してのお礼と今後の当市の公共交通についての協力をお願いし、会議の進行を事務局に戻した。

5 閉会

事務局の大澤は、本日の会議の全てを終了した旨を述べ、午後3時00分に令和5年度第2回伊豆の国市地域公共交通会議の閉会を宣言した。

以上の協議事項等を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び本会議の議事録署名人がこれに署名する。

令和5年11月24日

令和5年度第2回伊豆の国市地域公共交通会議

議事録作成者

議長・会長 伊豆の国市副市長

磯崎 猛

議事録署名人 伊豆箱根バス株式会社

岩崎 勝一